

省資源化やリサイクルなど、容器包装に関わる取り組みを中心に環境負荷の削減を進めています

リデュース（減量化）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）の3Rにリフューズ（発生回避）を加えた4Rの取り組みを、明確な優先順位付けのもとに実施しています。また商品開発部門、購買部門、環境部門で構成される「環境配慮型商品開発部会」を定期的に開催し、進捗状況の確認や環境関連情報の交換を行っています。

環境に配慮した商品開発のための指針

4R活動を徹底するために「環境に配慮した商品開発のための指針」を制定し、商品設計の段階で確実に配慮されるようにしています。

【指針概要】

●環境配慮型商品の基本的な考え方

酒類・食品商品は中身が消費された後、容器包装は廃棄物となる。この容器包装が引き起こす環境問題は我々の当面の重要課題であり、消費後に発生する環境問題も我々の責任範囲と考えなければならない。我々は商品設計段階での環境配慮が最も重要でかつ効率的な環境対策である事を認識し環境配慮型商品開発を進めるものとする。

環境配慮型の商品開発を通じて消費者にとっての商品価値の向上、社会的費用の低減、商品競争力強化を実現する環境マーケティングを推進するものとする。

●商品設計における配慮事項

- (1) 4Rの優先順位を認識した商品開発の推進
- (2) 商品の安全性と調和を取りながら出来る限りの素材の減量化に努める
- (3) リターナブル容器の優先開発
- (4) リサイクルの効率化に寄与する容器改良の推進
- (5) 再生材を出来るだけ使用する
- (6) 塩化ビニール素材は使用しない
- (7) 環境ホルモン溶出の低減化を図る
- (8) 複合素材の利用は避ける
- (9) 消費者に親切なリサイクル表示の推進
- (10) 環境問題解決に寄与する新規技術、アイデアの業界に先駆けた開発、採用を進める

■4Rの考え方

1 リフューズ (発生回避)	2 リデュース (減量化)	3 リユース (再使用)	4 リサイクル (再資源化)
----------------------	---------------------	--------------------	----------------------

グリーン調達・4Rガイドライン

購買部門が購入する容器包装品に関して、4R (Refuse, Reduce, Reuse, Recycle) を推進するため「グリーン調達・4Rガイドライン」を制定しています。

【ガイドライン概要】

●4R推進の考え方

購入する容器包装品は環境に対して常に適切な品質であり、かつ商品のトータルパッケージとしても環境に対して常に配慮的でなければならない。そのため、容器包装品の購入業務において4Rを推進するための考え方として、「使用禁止物質の規定」「設計段階での環境配慮」「取引先の理解」の3つを基本とする。

●購入業務における配慮事項

容器包装品の購入は環境関連法規則の遵守と規定された使用禁止物質の含有がないことを前提とし、必要な品質・機能・経済的合理性に加えて環境負荷低減に関して以下のような諸項目を満たしている容器包装品を優先的に購入する。

- (1) 減量化を考慮した設計がされていること。
- (2) 廃棄時に減容できること。
- (3) 単一素材であること。
- (4) 複合素材の場合は廃棄時容易に分離できること。
- (5) 再使用が可能、または再使用率が高いこと。
- (6) 製造時に環境負荷が低いこと。
- (7) 再生材及び再生品使用比率の高い材料を使用していること。
- (8) 納入時の梱包仕様においても環境負荷が低くなること。

また取引先の選定にあたっては、品質・価格・納期・サービス・技術開発力等に加え取引機会の均等を図ると共に、ISO14001の認証を取得しているか、取得していなくても環境保全活動に意欲的な取り組みを実践している取引先との取引を優先する。



リターナブルびん、ステイオンタブ、折りたためる紙パック

タカラ有機本みりんOCIA(有機認証)審査

分別しやすい「はすせるキャップ」

環境配慮型商品の販売

環境に配慮した商品の販売量を増加させることは、間接的に環境負荷を下げるにつながると考えます。宝酒造ではISO14001の目標に「環境配慮型商品の開発」と「環境配慮型商品の販売促進」を設定し、商品開発部門は毎年2件以上の商品の改良や開発をすることを目標として活動しています。また、営業部門では、はかり売り導入件数を増やすという目標を掲げ、日々の販売活動の中で環境活動を実践しています。さらに「環境配慮型商品の販売量」について、緑字決算の対象項目に設定し、社員への意識啓発を行っています。

当社の環境配慮型商品の定義は、中身の原材料や容器製造、容器リサイクル等の観点などから環境に対して配慮されており、通常の商品に比べて環境負荷が小さい商品です。その中から緑字決算に算入する環境配慮型商品の範囲は、「はかり売り」「リターナブル商品」「エコフロスト使用商品」「エコロジーボトル使用商品」「有機本みりん」「有機本料理清酒」です。2004年度の販売数量は36,263キロリットルでした。

容器リサイクル法への対応

1997年に容器包装リサイクル法が施行されたことにより、当社は容器ユーザー企業として(財)日本容器包装リサイクル協会に再商品化(リサイクル)を委託し、販売数量に応じた委託金を支払っています。当社の場合はその負担金が2004年度で1億4,000万円(税込)にもなり、リサイクルには、エネルギー以外にも多額のコストが必要だということがわかります。宝酒造では、4Rの考え方にに基づき、「リサイクル」を考える前に、はかり売りによる「リフューズ」や、リターナブルびんに代表される「リユース」ができないかを優先的に考えています。

リターナブルびんのシステムは、お客様が空になったびんを販売店などに返却し、びん商がそれを回収し洗浄して容器ユーザーが再度使用するという方法で、資源循環型社会に適したシステムです。しかしながら、ライフスタイルの変化や流通構造の変化などで減少の一途をたどっています。当社は、商品のリターナブル化だけでなく、このシステムを維持するために必要な洗びん会社や回収に欠かせないP函(プラスチックケース)のレンタル会社の設立に参画するなど、「リユース」のためのインフラの整備にも取り組んでいます。

■2004年度 環境配慮型商品開発・改良事例

対象商品、資材	環境配慮の内容
1、タカラ有機本料理清酒	原料にOCIA有機認証取得の「有機米」と「有機米こうじ」のみを使用した料理用清酒を発売。容器には「超軽量びん」を採用し、エコマークの認定を受けました。
2、清酒一升びん中栓	金属とプラスチックの複合素材である清酒一升びんの中栓をプラスチックの単一素材にしました。(松竹梅「豪快」に採用)
3、大容量PET外箱ダンボール	4リットルPET、2.7リットルPETの外箱ダンボールの紙使用量を削減しました。
4、ギフト商品内箱	歳暮ギフト商品内箱(清酒1.8リットル2本入、清酒720ミリリットル3本入)の紙使用量を削減しました。

■リターナブルびんの回収フロー図(びん商ルート)

